

きっと、あなたも“大切な人”に逢いたくなる――

種まく旅人

～華蓮のかがやき～

食が紡ぎ出す絆、心ゆさぶる感動作

舞台となった石川県で、先行公開記念舞台挨拶を実施

平素よりお世話になっております。

3月26日(金)より石川県先行公開がスタートし、4月2日(金)より、ユナイテッド・シネマ豊洲ほか全国公開される映画『種まく旅人～華蓮のかがやき～』の石川県先行公開記念舞台挨拶を、去る3月27日(土)に石川県金沢市内にて実施いたしました。

ご取材頂けなかった媒体様におかれましては、ぜひオフィシャルレポートをご掲載頂けますよう、宜しくお願い申し上げます。



■■石川県先行公開記念舞台挨拶概要■■

- 開催日：3月27日(土)
- 時間：12:30～13:10(40分) ※上映後舞台挨拶
- 登壇者：栗山千明、平岡祐太
- 会場：ユナイテッド・シネマ金沢 (石川県金沢市高柳町 1-70-1)
- MC：平見夕紀

【オフィシャルレポート】

日本の「食」を支える農業や漁業といった第一次産業を応援するためにスタートした映画『種まく旅人』シリーズ。

石川県金沢市の伝統野菜でもある「加賀れんこん」をテーマに描く、シリーズ4作目となる最新作『種まく旅人

～華蓮のかがやき～』が3月26日に映画の舞台となる石川県にて先行公開をスタートさせ、翌日の3月27日

(土)に、石川県先行公開記念舞台挨拶が、石川県金沢市のユナイテッド・シネマ金沢にて行われ、主演の栗山

千明、共演の平岡祐太が登壇した。後継者不在に悩む農業の現実を見つめなおす重厚な物語に、農業で活躍する

女性たち、通称「農業女子」を登場させ、心温まるヒューマンストーリーが展開される。

れんこん農家の視察のため石川県金沢市へとやってきた農林水産省職員、神野恵子(栗山千明)。一方、父親が

病で倒れ、突然、実家のれんこん畑の後継ぎ問題に直面し、結婚を考える恋人との関係にも苦悩する銀行マン・

山田良一(平岡祐太)。そんなふたりが、農業という職業が抱える問題点や、家族の在り方、そして農業に関わ

る人々の心の交流に触れながら、人生を見つめ直す感動の物語。

司会からの紹介とともに、盛大な拍手で迎えられて、栗山千明と平岡祐太が登壇した。

「映画をご鑑賞頂いた皆様にお会いできて、とても嬉しく思っています」という栗山のあいさつに続き、「ご鑑賞頂いたお客様と接することが初めてなので、今日はネタバレを気にせずに話せるので、楽しみにしています」との平岡のあいさつで舞台挨拶がスタートした。

映画の舞台となった石川県で公開を迎えられた、いまの気持ちを聞かれ、「本当に嬉しいの一言です。撮影自体は2019年の秋で、いつ作品を皆様に観て頂けるのかと心待ちにしていたなか、やっと公開を迎えることができました。この映画は金沢の皆様のご協力があって完成した作品。まずはこの金沢の地で公開を迎えられたことが本当に嬉しく思います」と栗山が語ると、「お客様がいなかったらどうしようかと不安でしたが、こんなに多くのお客様が観に来て下さって本当に嬉しいです」と平岡も満席の観客を前に、嬉しさを言葉にした。

栗山はシリーズ2作目に続いて主人公、神野恵子役を演じたが、今回役作りなどで心がけた点について、「井上監督からは、人間ドラマではあるが、エンターテインメント性の部分を神野恵子には担ってほしいとの要求があったのでその点は意識しました。あと、神野恵子はお節介な役どころであり、カップルの問題に首を突っ込むのですが、皆様に共感して頂けるように気をつけて演じました」と語った。一方で平岡は、「台本を読んだときに、誰にでも決断をしないといけないタイミングがあると思い、その点を大事に考えて役柄を作るようにしました。良一は都会の銀行マンなのでビジネスドラマの雰囲気を出しつつ、農家の後継ぎ問題という社会的要素をも取り入れながら作品に向き合っていければと考えていました」と役作りについて語った。

撮影で、れんこん畑に足を踏み入れるのが初めての体験だった栗山は「なかなかできない体験をさせて頂きました」、同じく初体験だった平岡は「最初は泥に埋まって歩けなかった」と撮影の苦勞を語り、「劇中で神野が初めてれんこん畑に入りシーンで苦戦するカットがありますが、演技ではなく、本当に歩けなくて大変だった」と当時を振り返る栗山に、「歩くのにはコツがあって、つま先から泥に入ると歩きやすくなる。ベタ足で入る

と足が抜けなくなってしまうんです。でもスタッフ含め誰かがコケると現場は盛り上がっていました」と撮影現場でのエピソードを披露した。

映画の題材にもなっている「加賀れんこん」については、「れんこんをそのまま焼いた、れんこんステーキが、とても美味しかった」と語る栗山。また「撮影期間中にれんこん料理にハマってしまって自粛期間中も、買ってきたれんこんのキンピラを細かく刻み、ご飯とまぜて食べていました」と、平岡はれんこん愛を語り、「石川のれんこんはモチモチして粘り気が多い、関東のれんこんはシャキシャキした違いがある」とれんこん豆知識も披露した。

思い出深く、印象に残ってるシーンについて聞かれた栗山は、「まずは金沢市内の主計町（かずえまち）でのシーン、夜景がとてもきれいだったのが印象的でした。もうひとつ、神野恵子が金沢に着いて、視察先の農園に向かうため、自転車でまっすぐな一本道を走るシーンが、本当に気持ちよくて印象に残っています」と振り返り、平岡は「良一が初めてれんこん畑に入ったときに、意識はしてなかったんですが、劇中で初めて笑っているなど。笑うことがなかった良一が、れんこん畑に入って、空を見上げて、金沢の空気を感じているシーンが印象に残っています」と語った。

最後に、「改めまして、石川県金沢の皆様には感謝しています。金沢の皆様のおかげで、この映画は完成しました。皆様に観て頂けて、本当に嬉しく思っています。本番はこれからですので、2度、3度と楽しんで頂けたら嬉しいです。身近な方々に映画を勧めて頂けたら嬉しく思います。ここから全国に発信して、金沢を盛り上げていけたらと思っています」との栗山のあいさつに続き、平岡は「実はひとつ心残りがありまして、撮影中から、金沢21世紀美術館にどうしても行きたかったのですが、まだ行けていなくて。今度は、金沢にプライベートで訪れたいなと思っています。本作のような「地域発」の映画が、全国に広がってほしいと願っています。ここ金沢から盛り上げて広がってほしいと思います」とのあいさつで締めくくった。

あいさつ後、劇中で重要なアイテムとして登場する指輪と同じリングが当たるプレゼント抽選会が開催され、突

然のサプライズ企画に会場は大いに盛り上がりを見せた。その後に舞台挨拶で訪れた石川県内の2つの劇場「シネマサンシャインかほく」「金沢コロナシネマワールド」にても満席のお客様に迎えられ、楽しいトークを繰り広げた。

3月26日(金)からの石川県先行公開に続き、4月2日(金)より全国順次公開となる。

【物語】 大学卒業後、大阪・堺市で銀行マンとして働く山田良一にある日、故郷の金沢でれんこん農家を営む母から「父親が脳梗塞で倒れた」と電話が入る。父・竹市が倒れたことにより、畑を引き継ぐか売却か二択を迫られる良一。結婚を考えている恋人のこともあり、なかなか決断できない。戸惑いながらも父に代わって畑へと向かう良一の姿に、不安と苛立ちを募らせる恋人。一方、農林水産省かられんこん農家の視察として神野恵子が金沢へとやって来るのだった――。農業が繋いでいくそれぞれの思いは、どんな結末を見出してくれるのか――。

【写真素材一式】

ダウンロード期限：2021年3月5日(金)

<https://46.gigafile.nu/0305-c05d3a5b569dfc0f43d123540dd40a8c8>

栗山千明 平岡祐太 大久保麻梨子 木村祐一(特別出演) 永島敏行 綿引勝彦
吉野由志子 柴やすよ 駒木根隆介 小久保寿人 平山祐介

監督：井上昌典 脚本：森脇京子

製作：千口寿子 エグゼクティブプロデューサー：北川淳一 プロデューサー：千口成基 中嶋 等 ラインプロデューサー：山田智也 撮影監督：阪本善尚 照明：奥田祥平 美術：黒川通利 装飾：中込秀志 録音：松本 悟 編集：川瀬 功 音響効果：勝亦さくら 助監督：大脇邦彦 キャスティング：杉野 剛 音楽制作：松竹ショウビズスタジオ 製作：KSCエンターテイメント 制作プロダクション：松竹撮影所 配給：ニチホランド 特別協賛：再生科学研究所 アスカグリーンファーム 協賛：えん家 リンクス 金沢西病院 後援：石川県/金沢市/北國新聞社・富山新聞社/MRO 北陸放送/石川テレビ放送/テレビ金沢/HAB 北陸朝日放送/エフエム石川/FM-N1 宣伝協力：マイナビ農業 ©2020 KSCエンターテイメント tanemaku-tabibito.jp 上映時間：108分

3月26日(金)石川県先行公開/4月2日(金)全国順次公開

<パブリシティ問い合わせ> **MUSA : 03-6262-8166**

篠 (090-1769-9488) shino@musa-c.com / 崔 (080-3271-9249) choi@musa-c.com / 神 (080-1227-2116) jin@musa-c.com / 喜納 (090-1488-3991) kino@musa-c.com

<配給お問合せ> ニチホランド : 03-6883-9876 / 配給協力：トリプルアップ 03-3505-0453